

# I. 環境変化を科学的にとらえた経営戦略の構築

## 第1分科会 (千葉)



### 地域活性化を達成できる強い中小企業への成長戦略

～「起業家精神」育成手法による有能な社員づくりを踏まえ～

立教大学経済学部教授  
ビジネスデザイン研究科兼任

廣江 彰氏

「地域格差」拡大が進行する中で、地域の将来像と地域経済をどのように構想するのが問われている。廣江氏は、社会人、大学生・生徒の「起業家精神」教育を実践し、地域にこだわり創造性を発揮できる実践者を創る教育に取り組んでいる。地域の活性化に中小企業としてどうかかわるのか、かかわることが中小企業経営にとってどのような意味を持つのか。地域経済環境の大きな変化を見据え、地域で「一置かれる」中小企業への成長を目指し地域活性化と中小企業の経営戦略を考える。

## 第2分科会 (東京)



### 環境変化に対応した企業づくり・市場づくり

～企業連携が不可能を可能にする～

インターワイヤード(株)  
代表取締役

斉藤 義弘氏

創業90年の老舗電線メーカー4代目。新卒採用で困っている時、同友会の共同求人に出合った。そして、経営指針を確立し企業変革に着手。ISO(品質・環境)やプライバシーマークをいち早く取得。品質管理や環境対策のシステム確立を力に、他社と連携しインターネット事業に進出、消費者モニター70万人のネットリサーチ事業を育て上げた。「経営者として必要なことは、同友会の仲間の社長から教えられた」という斉藤社長。環境変化に対応した経営戦略、自社にないものは他社と連携するなど不可能を可能にする共生型ジグソーパズル経営から学ぶ。

▶会社概要 設立:創業1919年 設立1936年 資本金:1億円 年商:24億円 従業員数:125名(内パート・アルバイト25名) 事業内容:放送局用電線・ケーブル・コンピュータケーブル・特殊ヒーター線の製造販売、ネットマーケティングリサーチ事業 URL:<http://www.interwired.co.jp> <http://www.dims.ne.jp/>

## 第3分科会 (北海道)



### 中小建設業の需要創造

～環境保全型土木工事で活路をひらく～

戸沼建設(株)  
代表取締役

戸沼 平八氏

地域経済を支えてきた建設業の企業淘汰が進む中、樹木を伐採しない崖崩れ防止工事や、林道をつけなくても作業ができる工法など、「環境保全型土木工事」で高い評価を受ける同社。近年ではNPO法人北海道魚道研究会を組織し、魚道に関する研究を産学官連携で積み重ねながら、新たな需要の掘り起しにも力を入れています。「哲学と文化とスポーツをする」と経営指針にうたう同社の実践から、中小建設業の生き残り戦略について考えて参ります。

▶会社概要 設立:1954年 資本金:3200万円 年商:年商13億600万円(2007年3月) 従業員数:29名 事業内容:土木工事業、建築工事業、造園工事業 URL:<http://www.tonuma.com/>

## 第4分科会 (沖縄)



### 仕事に喜びがあれば、人生は輝く

～お役立ちが原点、2坪半の薬局からのスタート～

(南愛和・(医)愛和会  
代表取締役・常務理事

宮城 初枝氏

3名の女性たちから大きな影響を受け、自分の生い立ちをバネに、薬剤師の資格を取得したあと1960年に親から1,000\$を借り薬局をオープン。寝食を忘れ働き詰めで1年で親に返済するも隣の店からの延焼などもあって、その人生はまさに波乱万丈。その後、医療法人池田苑を立ち上げ、5年後にあいわクリニックを建設中にガンが見つかります。それでも人生にマイナスはないと、74才で新規事業に着手し、このほど南愛和を立ち上げ、那覇市新都心おもしろまちに自社ビルを建設、2億円の借入も「借金は借金だ。出来るのも才能」と話すが、その人生からは読得力があります。「仕事をやめると私に言うのは死ねと言ふこと」という宮城社長自身の一生現役企業家としての生き方を語ります。

▶会社概要 設立:2007年南愛和設立、1993年(医)愛和会開設 資本金:500万円(南愛和) 年商:7億7300万円((医)愛和会) 従業員数:145名(グループ) (内パート・アルバイト22名(グループ)) 事業内容:クリニック、老人保健施設、訪問看護、居宅介護、グループホーム URL:<http://www.aiwakai.jp>

## 第5分科会 (高城)



### たゆまぬ革新で業界をリードする八葉水産の経営戦略

～お客様に最も近いメーカーを目指して～

(株)八葉水産  
代表取締役

清水 敏也氏

めかぶ・塩辛・もずくなどの水産加工品で全国的に知られる(株)八葉水産を36歳で後継。商品寿命が短く競争が激しい業界において、優れた先見力で躍進を続けている。高品質で「新鮮さ」溢れる商品は、消費者のみならずスーパー・小売店からも高い信頼を得ている。「人は現状維持よりも新しいことに挑戦するときに力を発揮する。それを続けられる企業体質づくりこそが経営者の責務」と清水氏は語る。社員の自主性を引き出し、全社一丸で業界のリーディングカンパニーを目指す(株)八葉水産の実践から学ぶ。

▶会社概要 設立:1972年 資本金:2000万円 年商:47億円 従業員数:190名(内パート・アルバイト30名) 事業内容:水産加工業(めかぶ・正油漬・いか塩辛・もずく酢他) URL:<http://www.hachisui.jp/>

# II. 経営指針を柱に強じんな企業づくりを

## 第6分科会 (高城)



### 社員とお客さまの夢を叶える自立型企業づくり

～経営指針でビジョンの共有と足下を見据えた経営を～

グルメライフ販売(株)  
代表取締役

菊地 肇氏

1989年、脱サラしてパンの宅配事業を始め、翌年からは大型小売店へのインスタペーカリーも展開。時代が大型店同士の競争激化に入ったときは18店舗まで増えており、客足にも影響が出始める。2004年「出店先に自社の運命を任せるような経営はやめよう」と自前店舗の展開を決断。この決断の背景には1995年以来創り続けている経営指針があり、社員の長年の夢をかなえるものでもあった。社内は希望に満ち、元気でさわやかな社員の対応と健康とおいしさにこだわり、心を込めてつくられたパンは着実にパンセファンを増やしている。

▶会社概要 設立:1989年 資本金:3000万 年商:9億円 従業員数:170名(内パート・アルバイト140名) 事業内容:郊外型ペーカリー「石窯パン工房 パンセ」の展開、パンの宅配 URL:<http://www.gourmetlife.co.jp>

## 第7分科会 (熊本)



### 社員の夢と希望を載せ、総合物流企業をめざす

～人材育成こそ経営指針づくりの最重要課題～

(株)AZUMA  
代表取締役

上田 裕子氏

廃業するか否か悩んでいた父の姿を見て22歳で会社を受け継ぐことを決意。トラック5台からスタートするも、社員は入っては辞めの繰り返しで悩む毎日。そんな中、一通のDMがきっかけで同友会に入会。人材育成を経営指針書の最重要課題と位置づけ、社員に夢を語り、仕事を任せ、成功体験を積ませる。また、やりがいを持って働ける職場環境の整備にも力を注ぐ。県内運送業界は規制緩和以降、年々増え続け現在約900社。価格競争の激化、燃料高騰、コンプライアンス等多くの課題を抱えており、その中で「総合物流企業」をめざして奮闘中の実践事例を報告します。

▶会社概要 設立:1965年 資本金:1000万円 年商:8億円 従業員数:110名(内パート・アルバイト13名) 事業内容:一般地域貨物運送事業 引越業務 倉庫業務 各種車両車検 整備 取扱地域貨物運送事業 URL:<http://www.azuma-inc.com/>